

PFOS、PFOAに関するQ&A集について



環境省が設置した「PFAS に対する総合戦略検討専門家会議」の監修の下で「PFOS、PFOA に関する Q&A 集 (2023 年 7 月時点)」が作成されました。Q&A 集の質問と回答内容を簡潔にまとめましたのでご紹介します。

Q1：PFOS、PFOA はなぜ、製造・輸入禁止といった非常に厳格な措置が採られている？

⇒有害性のほか、難分解性、高蓄積性、長距離移動性という特性があるためです。

Q2：身近な環境中の PFOS、PFOA はこれから増えるのでしょうか？

⇒同一測定点の河川等の水質、底質、大気中の濃度が全体的な傾向として年々減少傾向です。

Q3：永遠の化学物質と聞きました。一度身体に入ったら一生残るのでしょうか？

⇒一生身体の中に残るわけではなく、体内に吸収された後は体内からゆっくり排泄されます。

Q4：PFOS、PFOA が飲み水に含まれている場合があると聞いたが、大丈夫でしょうか？

⇒厚生労働省から水道事業者等に暫定目標値を超えないように管理をお願いしています。

Q5：米国などで水道水の目標値等を厳しくする動きがあるようですが、日本の水道に係る暫定目標値の 50ng/L では甘すぎるのではないのでしょうか？

⇒現在の暫定目標値(=50ng/L)は、2020 年当時における安全側に立った考え方を基に設定されたものです。暫定目標値の取扱いについて専門家による検討が進められています。

Q6：健康影響に関する血中濃度の基準はないのですか？血液検査を受ければ健康影響を把握できますか？

⇒血中濃度の基準を定めること、検査から健康影響を把握することは困難なのが現状です。

Q7：家庭で使う消火器にも PFOS、PFOA 含まれているのでしょうか？

⇒通常家庭で使われている消火器には PFOS、PFOA を含有しているものではありません。

Q8：PFOS、PFOA を含む泡消火薬剤の代替をどのように進めているのでしょうか？

⇒関係省庁から PFOS、PFOA を含まない泡消火薬剤への代替の促進を図る予定です。

Q9：泡消火薬剤以外にも、様々な用途で使われていたと聞きましたが、生活をする中で気をつけるべきことはありますか？

⇒身の回りの製品について、特段心配するようなことはありません。

当社では、PFAS に関して小冊子「飲料水・環境水中の PFAS 規制」と「PFAS の特徴と各国の規制」を発行しています。ご希望の方は[当社ホームページ](#)又は右の QR コードよりお申し込み下さい。

小冊子お申し込み



詳しくは、当社 営業担当 又は 分析担当者 佐藤 (亮)、長谷川 (フリーダイヤル 0120-01-2590) まで、お気軽にお問い合わせください。右の QR コードからもお問い合わせができます。

お問い合わせフォーム

